

平成23年の救急出動件数等 (速報) について

救急企画室

1 救急出動件数及び搬送人員について (表1及び表2)

平成23年の救急出動件数は、前年と比べ24万3,110件増加し、570万6,792件となり、過去最多の出動件数でした。前年比4.4%の増加率で、平成21年以降3年連続の増加となります。

また、全国の796消防本部*のうち、出動件数が増加した消防本部は674本部(84.7%)、減少した消防本部は120本部(15.1%)、増減がなかった消防本部は2本部でしたが、都道府県別に見ると全ての都道府県において出動件数が増加しています。

一方で、搬送人員についても、前年と比べ20万1,859人増加し、518万1,396人となり、過去最多の搬送人員でした。

* 全国797消防本部のうち、東日本大震災の影響により、平成23年は、陸前高田市消防本部を除く796消防本部で集計しています。

2 増減の要因について (表3)

出動件数が増加した674の消防本部に要因と思われる事由を質問したところ(複数回答)、「急病の傷病者の増加」が558本部(82.8%)、「高齢者の傷病者の増加」が526本部(78.0%)、「一般負傷の増加」が357本部(53.0%)、「転院搬送の増加」が238本部(35.3%)等となっています。

3 今後の対応

消防庁としては、限られた救急医療資源で最大限の救急対応を行えるよう、「救急車利用マニュアル」等の活用により国民の皆様の理解を求めるとともに、厚生労働省をはじめとする関係機関と連携し、より一層、消防と医療の連携を推進します。

表 1

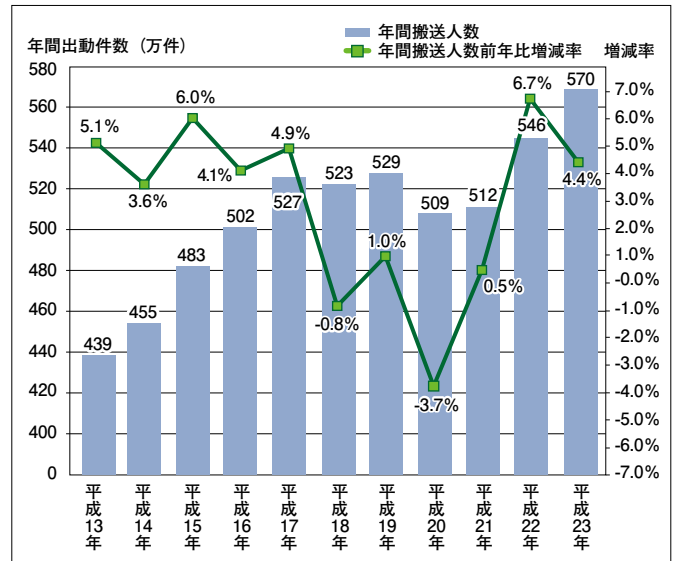


表 2

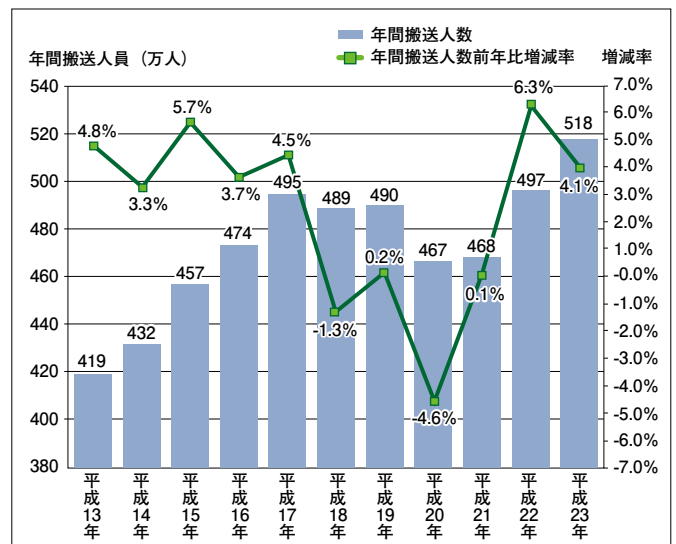


表 3

出動件数全体が「増加」した 要因と思われる項目	回答欄合計 (A)	(A) / 674 本部
①高齢者の傷病者の増加	526	78.0%
②急病の傷病者の増加	558	82.8%
③不適正利用者の増加		
明らかに交通手段がないため 要請する傷病者の増加	55	8.2%
明らかに軽症であると思われる 傷病者の増加	170	25.2%
④転院搬送の増加	238	35.3%
⑤東日本大震災の影響により増加	67	9.9%
⑥一般負傷の増加	357	53.0%
⑦その他 下記記入欄に記載してください	81	12.0%
⑧不明	14	2.1%